

1 札幌市における現状の課題認識

社会情勢の変化への対応の視点

人口減少の到来と急速な少子高齢化の進展

- 安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境整備
- 子どもに対する積極的な投資による、次世代を担う人材の育成
- 子どもから高齢者まで、誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進
- 人口減少や少子高齢化を前提とした都市空間や交通体系の構築（特に「歩いて暮らせるまちづくり」の視点の重視）

グローバル化の急速な進展、東アジア地域の急速な経済成長

- 東アジア地域をはじめとする国際的な地域別のターゲットを明確にした経済政策の展開
- 多文化共生社会の実現に向けた環境づくり

地球環境問題の深刻化と意識の高まり

- 環境面での持続可能性を意識したまちづくりの推進
- 新たな環境産業の創出など地域環境問題と経済とを両立させるための取組の推進
- 多様な自然を守り、育てていくまちづくりの推進

家族や地域のつながりの弱まりと新たな公共の担い手の成長

- 地域において高齢者や各世代が支え合うまちづくりの推進
- 市民活動に関する情報提供など、市民の市政や地域活動への参加促進に向けた取組の推進

東日本大震災の発生

- 地域防災力を高めるなど、より災害に強い安全・安心なまちづくりの推進
- 今回の震災による影響が比較的少なかった大都市として、被災地の復興支援はもとより、日本全体の経済の復興に向けた積極的な貢献
- 国のエネルギー政策の見直しの動向を踏まえた再生可能エネルギーへの転換や省エネ対策の更なる推進

札幌が抱える現状の課題と特性を活かしたまちづくりの方向性

創造的な活動の展開

- 文化芸術分野を中心に、市民一人一人が、創造性を発揮できるような環境整備
- 市民の創造性を活かした新たな文化や産業の創出
- 今まで整備してきた文化施設を活用した、集客交流につながるソフト事業の積極的な展開

北海道の中心都市としての役割

- 道内の各市町村と連携した、北海道全体の活性化に向けた取組の積極的な推進

脆弱な経済・産業基盤

- 「食」「観光」「環境」「健康・福祉」といった分野を中心に、札幌の強みを活かした新たな付加価値の高い産業の創出
- 札幌の経済を支える企業や人に対する支援

厳しい財政状況下での行政サービスのあり方

- 施設の再利用や多目的利用、施設の長寿命化など、既存施設の有効活用の推進
- 人口減少や少子高齢化が進展する中での、適正な行政サービス水準や市民負担の設定